

令和5年度（2023年度）英語授業づくりプロジェクト～小学校～
授業づくり省察シート

【授業づくり省察の視点】		（できているところに○をつけましょう↓）
ア 指導と評価の一体化を図る授業のために（CAN-DOリストの作成及び活用）		チェック
①	学年の学習到達目標を踏まえて、単元の目標及び評価規準を適切に設定しているか （領域別目標の焦点化）	
②	単元を通した学習課題を達成した子供の姿を児童と共有し、単元を通して児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう手立てを図っているか	
③	単元の目標を達成した児童の姿を具体的にイメージ（見える化）し、児童ができるようになった適切な時期に、適切な方法で記録に残す評価を実施しているか	
④	学年の学習到達目標を達成できたか適切に見取るため、各単元とは別に、内容のまとまりごとに、学期に1回程度のパフォーマンステストを実施しているか	
イ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる言語活動のために ※小学校外国語（活動）における言語活動 「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」		チェック
①	言語活動には、次の4つの要素が満たされているか 1) 「伝え合う必然性があるか」 2) 「相手意識をもって取り組むことができるか」 3) 「『本物』のコミュニケーションであるか」 4) 「コミュニケーションの意義や楽しさを感じられるか」	
②	単元を通して、1単位時間の授業の中心が「言語活動」となる授業を実践しているか	
③	言語活動では、「練習して口慣らしをしてから使ってみる」だけでなく、「実際に使いながら習得させる」指導を実践しているか	
④	単元を通して、（前学年、前単元までに学習した）既習事項を繰り返し活用し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて伝える内容や表現を工夫する言語活動を実践しているか	
ウ R5英語授業づくりプロジェクトの目標		チェック
①	英語が「好き」「わかる」「できた」と児童が実感できるための授業づくりを意識しているか	
【メモ】		